



令和2年度 大分県ドローン協議会 ドローン点検技術管理者向け講座 カリキュラム及び講師概要

JAPAN UAS
INDUSTRIAL
DEVELOPMENT
ASSOCIATION

一般社団法人 日本UAS産業振興協議会



Japan UAS Industrial Development Association

講座詳細① ドローンサービス提供者として事業展開を考えている方

		講義名	カリキュラム詳細	時間
1日目 1/18 (月)	共通講座	ドローンの法律・技術・運用	ドローンの全体感、サービス設計に必要な最低限の知識について紹介	6h
2日目 1/19 (火)		ドローンの活用事例	サービスイメージ獲得のために既にサービス化された活用事例を紹介	4h
		ドローンの技術開発	技術毎の開発難易度等、技術開発の要点を解説	2h
3日目 1/20 (水)	対象別講座	課題及び解決へのアプローチ	マーケットのニーズ特定とターゲットの選定手法について解説	1h
		市場規模推定及び自社の強み分析	ターゲットのニーズ及び市場規模並びに自社のアセット分析に伴う強みの活かし方について解説	1h
		要件定義	サービスの実現難易度や所要期間の見積もり方について解説	1h
		ビジネススキーム・ビジネスモデル設計	商流・ビジネスモデルの設計について解説	1h
		価格設計・PR戦略	価格の設計方法及びサービスのPRの手法について解説	1h
		資金調達及び事業計画 (2日にわたって実施)	資金調達方法及び事業計画の策定方法について解説、ワークショップを実施	3h
4日目 1/21 (木)	講 共通 座	ドローン空撮に関する概論	各分野におけるドローン活用の基礎となる空撮の活用の現状や具体的な方法について解説	2h
		提案書作成	提案書の作成方法について解説	2h
5日目 1/22 (金)	選択講座	建築/設備・点検に関する個別講義	建築/設備点検業界におけるドローンの活用の現状や具体的な方法等について解説	各 3h
適宜	講 共通 座	中間レビュー	提案書に対する中間フィードバック・ブラッシュアップを実施	-
6日目 2/10 (水)		発表会	最終的な成果物の発表及びフィードバックを実施	6h

講座詳細② 業務改善を目的として社内でドローンの導入を考えている方

	講義名	カリキュラム詳細	時間
1日目 1/18 (月)	共通講座	ドローンの法律・技術・運用	ドローンの全体感、サービス設計に必要な最低限の知識について紹介 6h
2日目 1/19 (火)		ドローンの活用事例	サービスイメージ獲得のために既にサービス化された活用事例を紹介 4h
		ドローンの技術開発	技術毎の開発難易度等、技術開発の要点を解説 2h
3日目 1/20 (水)	対象別講座	課題特定及び要件定義	課題の特定方法及び要件の整理手法を解説 1h
		ソリューション選定及び業務フロー設計	ソリューションの選定方法及び業務フローの設計方法について解説 1h
		自社における運用上の注意点	自社で運用するにあたっての注意点について解説 1h
		実証実験の実施方法	実証実験の実施方法と実施計画の策定方法について解説 1h
		ビジネスモデル設計	ビジネスモデルについて解説 1h
		投資対効果検証(2日にわたって実施)	導入による投資対効果の見積りについて解説、フィードバックを実施 3h
4日目 1/21 (木)	講 共 座 通	ドローン空撮に関する概論	各分野におけるドローン活用の基礎となる空撮の活用の現状や具体的な方法について解説 2h
		提案書作成	提案書の作成方法について解説 2h
5日目 1/22 (金)	選択講座	建築/設備・点検に関する個別講義	建築/設備点検業界におけるドローンの活用の現状や具体的な方法等について解説 各3h
適宜	講 共 座 通	中間レビュー	提案書に対する中間フィードバック・ブラッシュアップを実施 -
6日目 2/10 (水)		発表会	最終的な成果物の発表及びフィードバックを実施 6h

代表的な講師紹介①



鈴木真二 <一般社団法人日本UAS産業振興協議会 理事長>

東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。(株)豊田中央研究所を経て、東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻教授を定年退職後、東京大学名誉教授、東京大学ビジョン研究センター特任教授に就任。2019年度から福島ロボットテストフィールド所長を兼任。工学博士、専門は航空工学。日本航空宇宙学会会長(第43期)。国際航空科学連盟(ICAS)会長などを務める。著書に、『飛行機物語』(筑摩書房)、『現代航空論』(編集、東京大学出版会)、『落ちない飛行機への挑戦』(化学同人社)などがある。



千田泰弘 <一般社団法人日本UAS産業振興協議会 副理事長>

東京大学工学部電気工学科を卒業後国際電信電話株式会社(KDD)に入社。国際電話交換システム、データ交換システム等の研究開発に携わった後、ロンドン事務所長、テレハウスヨーロッパ社長、取締役を歴任。1996年株式会社オーネット代表取締役就任。その後2000年にNASDAQ(現JAXA)宇宙用部品技術委員会委員、2012年一般社団法人国家ビジョン研究会理事、2013年一般社団法人JAC新鋭の匠理事に就任。



岩田拓也 <一般社団法人日本UAS産業振興協議会 常務理事>

1998年通商産業省工業技術院電子技術総合研究所に入所。第16回電子材料シンポジウムEMS賞受賞、第12回応用物理学会講演奨励賞受賞。白色LED開発にてゼロから1兆円産業に成長する過程を経験。半導体製造装置開発からロボット技術に目覚め、2004年に独立行政法人産業技術総合研究所知能システム研究部門に移籍、無人航空機の研究開発を始める。2007年日本機械学会交通・物流部門優秀講演表彰を受賞。2008年に経済産業省製造産業局産業機械課にてロボット政策に従事。2009年以降「NIIGATA SKY PROJECT」の無人航空機開発を立ち上げる。

代表的な講師紹介②



田口直樹 <一般社団法人日本UAS産業振興協議会 経営企画室長、国際部長>

一橋大学経済学部経済学科卒業。三菱商事にて5年間財経・投資審査業務に従事。企業合併、海外新規事業立ち上げ等の案件に加え、内部統制、海外事業会社のCFO補佐等の幅広い業務を経験。2015年からJUIDAに参画し経営企画室長としてJUIDA認定スクールの立ち上げや福島RTF事業、また海外認定スクールの立ち上げなどに携わっている。また物流用ドローンポートの国際標準化事業や、大分ドローンフェスタの開催をプロジェクトマネージャーとして推進。JUIDA物流ガイドライン制作統括責任者、プラント点検実務マニュアル制作統括責任者。



熊田貴之 <ブルーイノベーション株式会社 代表取締役社長>

日本大学大学院理工学研究科博士課程修了。大学院時代の経験をきっかけに、世界初の海岸地形と底質粒径の変化が予測できる数値計算モデルを開発。その後、海岸環境に関わるコンサルタント事業を立ち上げ、日本で初めて、ドローン・UASを用いた海岸モニタリングシステムを開発。2011年、東日本大震災直後にはドローン・UASによる海岸復旧のための調査を実施。以降、ドローン・UASの有効な産業利用を模索し研究・開発に取り組んでいる。



熊田雅之 <ブルーイノベーション株式会社 専務取締役>

東京理科大学工学部物理学科卒業。2002年富士ソフト株式会社へ入社、その後2011年ブルーイノベーション株式会社に入社。システムエンジニアとして、画像シミュレータ、動画配信プラットフォーム、フィーチャーフォンアプリケーション、webアプリケーション、スマホアプリなど幅広い分野の開発に従事。現在、ブルーイノベーション株式会社専務取締役兼システム開発部長として無人航空機の管制システム及び自律制御システム全般の指揮をとる。

代表的な講師紹介③



那須隆志 <ブルーイノベーション株式会社 常務取締役>

大分大学大学院工学研究科修了。グロービス経営大学大学院経営研究科修了。ソニーセミコンダクタ九州に入社し、ソニー株式会社に出向。業界初の液冷システムの開発や業界薄型プロジェクターを実現するための放熱システム設計に携わる。その後、電通国際情報サービスを経て、iTiDコンサルティングへ参画。大手製造業を対象とした製品開発業務の改革や新規事業創出、経営マネジメントシステムの改革に携わる。2017年よりブルーイノベーションに参画し、ドローンを活用した新規事業やサービスの企画・提案業務を担当している。



尾向恵介 <ブルーイノベーション株式会社 ソリューション2部部长>

慶應義塾大学商学部卒業。株式会社インクスに入社し、マネージャーとして生産管理業務及び管理部門における一連のシステム開発プロジェクトを推進。2009年ITベンチャーの立ち上げに参画し、不動産業の業務管理システムの開発プロジェクトを管理責任者として統括。2012年株式会社コアコンセプト・テクノロジーに入社し、日本の自動車メーカーの全拠点(全世界)での原価管理システム立ち上げプロジェクト、及び製造業事業における事業戦略及び営業戦略立案に推進。ブルーイノベーションに参画後は、ソリューション2部部长としてドローンを活用した多数の事業における企画・提案業務を担当している。